

## 大分県カボス振興協議会ホームページ改修業務仕様書

### 改修目的

本会ホームページは平成 22 年にかぼすの認知度向上と消費拡大を目的に開設され、これまでかぼすの生産概要や歴史、かぼす料理レシピなど消費者やマスコミに伝えるほか、新着情報を全国に発信する重要なツールとしてきた。近年ホームページの閲覧時間は年々増加傾向であり、ホームページを使った PR の重要度が増しつつある。

当事業では、かぼすの更なる認知度向上と消費拡大に向けて、ホームページをより分かりやすくこれまで以上にかぼすの魅力が伝わるよう、消費者に情報発信できるものへ改修することを目的とする。

### 1 業務内容

#### 1-1 業務名

大分県カボス振興協議会ホームページ改修業務委託

#### 1-2 本事業委託の基本方針

受託者は以下の基本方針を十分理解した上で業務を実施すること。

- (1) CMS 等を利用して、簡易に迅速な情報発信が出来ることの実現
- (2) 必要な情報がどこにあるかわかりやすいデザイン、サイト構成の実現
- (3) 大分かぼすの歴史や特徴をわかりやすく表示するとともに、レシピや使い方等のかぼすの魅力をアピールできる幅広い年代が見やすいデザインの実現
- (4) 容易かつ安価に運用が行えることの実現

#### 1-3 委託業務の範囲

- (1) 本仕様書の要件を満たす CMS の構築
- (2) サイトのデザイン、設計
- (3) サイトの構築
- (4) (3) で開発、設計を行ったもののハードウェアの準備・導入・設定作業
- (5) 現行のホームページに掲載されているコンテンツのデータ移行(一部を除く)
- (6) ミドルウェア及び OS の調達
- (7) 職員向けマニュアル等、ドキュメントの整備
- (8) 委託期間内のシステム運用保守
- (9) 委託期間内のホームページ運用保守

#### 1-4 予算額

2, 3 0 0, 0 0 0 円 (消費税及び地方消費税含む)

#### 1-5 履行場所

大分県カボス振興協議会が指定する場所

#### 1-6 契約期間

契約締結の日から令和4年3月11日までとする

#### 1-7 用語定義

- (1) 「閲覧者」とはホームページを閲覧する者とする。
- (2) 「管理者」とはホームページを管理する大分県カボス振興協議会事務局職員とする。

## 2 委託業務内容

### 2-1 CMS 構築

大分県カボス振興協議会ホームページのコンテンツの作成及び管理等を行うためのCMSで構築を行うこと。

#### (1) 基本ソフトウェア

- ① CMSについては、構築・運用・カスタマイズが容易に行え、そのコストを低減できるよう工夫し、運用・カスタマイズは他業者でも行えるようにすること。
- ② システムの構築及び運用に必要なソフトウェアは有償、無償を問わず委託費用内で受託者が調達するものとする。
- ③ 利用するCMSパッケージの選定に当たっては、セキュリティ上、信頼性が高く十分に運用実績のあるものを選定すること。
- ④ CMSパッケージおよびCMSを稼働させるためのミドルウェア、OS等の選定については、県と協議を行い、事前に承認を得ること。

#### (2) ホームページ用データ作成機能

- ① 大分県カボス振興協議会で公開するためのHTMLデータを、パソコンの操作に不慣れな職員でも、ブラウザからワープロソフトを扱う感覚で簡単に作成できること。
- ② スマートフォン版ページをPC版と同時に作成できる、いわゆるレスポンシブウェブデザインに対応すること。
- ③ 画像の掲載・変更・削除が容易にできること。
- ④ PDF、word、excel、PowerPoint等のファイルを添付してアップロードできる

こと。

- ⑤ リンク切れ及び設定ミスがあった場合は、発見次第早急に県の指示があった内容に修正を行うこと。
- ⑥ HTML を編集することなく、文字色と文字サイズの変更を行えること。
- ⑦ 作業過程において作成ページを一時保存できること。
- ⑧ ページ単位で指定日時に公開及び公開終了を行えること。また、即時公開および即時停止が行えること。
- ⑨ 画像ファイルが設定値よりも大きい場合は、自動的にリサイズさせる、または警告を表示できる機能を有すること。
- ⑩ YouTube 等の動画をページ内に埋め込み表示できること。
- ⑪ 問い合わせや申込み用のフォームが作成でき、閲覧者がメールソフトによらなくても簡単に送付できること。
- ⑫ 問い合わせフォームを実装すること。
- ⑬ Google マップ等の無料 web サービスと連携し、簡単な操作で地図情報を案内表示できること。
- ⑭ 新着情報について、自動的に RSS フィードを生成することができること。

### (3) 管理・運用機能

- ① 公開期間の指定ができ、その期間に合わせて自動的にページの公開開始・終了ができること。
- ② 速やかな公開日更新・削除を要する情報は、容易に即時公開ができること。なお、登録から公開までの時間の目安は、5分以内とする。
- ③ トップページに使用するデザインのテンプレートを複数提案すること。
- ④ アクセス解析機能を有すること。
- ⑤ コンテンツ管理は別アプリケーションを用いず CMS だけでできること。
- ⑥ コンテンツの選択削除・一括削除ができること。
- ⑦ 共通のメニューとして表示する項目の追加削除日順序変更・表示階層の設定を管理者が行うことができること。
- ⑧ 閲覧者が登録した情報を管理者に転送できる機能を有すること。登録項目および転送するデータ形式については協議の上決定する。

### (4) ユーザビリティ・ウェブアクセシビリティ関連機能

- ① 大分県カボス振興協議会ホームページへのアクセス数の向上を目指し、SEO 対策を行うこと。
- ② サイトマップを自動で生成し表示できること。
- ③ サイト内で記事・コンテンツなどの検索が可能であること。

- ④ Microsoft Edge、GoogleChrome、FireFox、Safari の最新バージョンで正常に表示されること。
- ⑤ 障がい者や高齢者の閲覧を想定し、JIS 規格を踏まえたウェブアクセシビリティに十分配慮すること。

#### (5) その他

- ① CMS を利用する端末の台数や、ページ数の増加によるライセンス料金が発生しないこと。
- ② 使用する操作クライアントで快適に更新作業が行えること。
- ③ 個人情報等の大切な情報はセキュアな SSL 通信を使用すること。
- ④ システム管理者パスワード等、各種パスワードは暗号化の上、保存すること。
- ⑤ 基本的に障害発生によるサービス停止を極力避けること。万一の障害発生時においても、短時間で運用再開を可能とし、障害発生前後のデータの整合性を保持できる構成とすること。
- ⑥ 今後のシステム拡張や機能変更、他システムとの連携が容易に行えるものであること。
- ⑦ 今後、新たなシステムを再構築する場合、本システムの開発受託者は、新たなシステムの構築受託者に対して、必要な支援作業を行い、新たなシステムへの円滑な移行に寄与すること。
- ⑧ 不正アクセスへの対応を十分に意識し、不要なポートは解放しないこと
- ⑨ 本システムの閲覧者は、各自の端末にあらかじめ導入された Web ブラウザを利用して、インターネットを介して情報の閲覧等を行うものとし、支障なく利用できる環境として、以下にその要件を示す。
- ⑩ 現行の HP ドメイン「oitakabosu.com」を引き継ぐこと。

## ○クライアントのインターネット閲覧環境

※令和3年4月時点であり、今後変動することがある。

項目	主な仕様
画面解像度	(横)1920 ピクセル X (縦)1080 ピクセル
ブラウザ	Google Chrome

## ○閲覧者側環境

項目	要件
端末性能	一般的な性能（メモリ：8GB以上、CPU：i5以上、SSD）を有する端末により、支障なく利用できること。
OS、Webブラウザ	一般的に普及しているOS、Webブラウザ（Microsoft Edge、Google Chrome、Safari、FireFox等）により、支障なく利用できること。
インターネット接続環境	閲覧者端末のインターネット接続が、いわゆるナローバンド環境の場合でも、最低限利用できるよう配慮されていること。

## 2-2 デザイン・サイト構成

### (1) トップページ設計

- ① 本県と協議の上、トップページのデザイン及び作成を行うこと。
- ② サーバ負荷やユーザビリティを考慮し、必要以上にデータ容量が大きくなるようにしないようにすること。

### (2) サイト構成設計

- ① 現状のホームページの改善点を分析し、本県と協議の上、より使いやすく、わかりやすいサイト構成の設計を行うこと。
- ② カテゴリごとに使用テンプレートを分ける等、閲覧者にわかりやすくなるような配慮を行うこと。

## 2-3 サイト構築

### (1) トップページ構築

2-2(1)によるトップページの設計に基づきトップページの構築を行うこと。  
また、トップページの表示に当たっては、原則として閲覧者の使用端末のOSやブラウザにかかわらず表示可能であること。

## (2) サイト構築

- ① 2-2(2)によるサイト構成の設計に基づき、サイト構築を行うこと。
- ② サイト共通のメニューであるグローバルナビゲーションをサイト全体あるいは複数のページで共通の位置に表示できること。

## (3) ホームページ制作

### ・英語版ホームページの構築

英語版のサイト構築を検討すること。英語化するホームページ範囲については、委託者と協議の上構築すること。

## 2-4 ハードウェア準備、システム導入設定

### (1) ハードウェア設計

- ① 本委託事業で構築したシステムが動作するサーバ仕様の設計書を提出すること。
- ② 動画コンテンツは原則として本委託事業で構築するホームページ用のサーバ内には置かないため、記憶容量、ネットワーク負荷等はそれを踏まえた上で設計を行うこと。

### (2) セキュリティ設定

- ① 外部からの不正アクセスを考慮し、必要なセキュリティ設定を行うこと。
- ② 不要なサービスは起動しないこと。
- ③ 不要なポート開放は行わないこと。
- ④ OS、ミドルウェアおよびパッケージシステムについては、セキュリティ上必要となるパッチを全て充て、最新のバージョンに更新した上で納品を行うこと。
- ⑤ ホームページ公開時、OS や web サービスなどのバージョン情報が外部からわかることがないよう、非表示の設定を行うこと。

### (3) ハードウェア準備

- ① 本委託事業で構築したサーバは、IaaS 等のクラウド上のハードウェアサービスで稼働することを想定している。
- ② IaaS 等のハードウェアサービスについては、開発者が準備を行うこと。
- ③ 契約期間内のハードウェアサービス利用料は開発者が負担することとし、契約期間後の当該利用料については運用保守経費の中に含めるものとする。

## 2-5 データ移行及び切り替え作業

### (1) 旧ホームページについて

- ① 原則として、旧ホームページにあるコンテンツについては、新ホームページにすべて移行するが、県との協議でコンテンツの追加及び削除に対応できるようにすること。

### (2) データ移行について

- ① 2-2(2)のサイト構成の設計に基づきカテゴリの変更を行った上で、データを移行すること。
- ② 各ページのサイト内リンクが切れないように移行すること。
- ③ 原則、移行したデータは全てCMSで編集可能であること。

### (3) 切り替えについて

- ① 公開サーバ及びコンテンツマネジメントシステムの切替え時間が最少となるよう切替え計画を立て、実施すること。
- ② 新旧システムの切替え方法は、並行期間を可能な限り短くし、切替え直前までのデータを新システムに移行することにより、切替え前後のデータの連続性を確保すること。
- ③ ホームページ作成システムの各機能の動作や処理性能などの検証を行うこと。
- ④ 他システムとの連携機能について、検証、確認を行うこと。

## 2-6 ミドルウェア及びOSの調達要件

システム構築の根幹をなすミドルウェア(CMS、データベース等)の他に、システム運用をサポートするため、下記の要件を満たすOSおよびミドルウェアを導入すること。

### (1) 不正アクセス対策

外部ネットワークからの不正アクセスによるサイトの改ざんや情報漏えいを防ぐ仕組みを導入すること。

### (2) 障害監視

サービスが停止した場合及びハードウェアに障害が発生した場合は、直ちに障害を検知し、メール等で管理者に通知を行う機能を有すること。

### (3) バックアップ

定期的なバックアップを自動で可能なバックアップツールを導入することをまた、バックアップは夜間のメンテナンス時間のみで完了すること。

#### (4) パッチ適用

システムを構成する各ソフトウェアの調達にあたっては、不具合や脆弱性が認知された場合、修正プログラムを取得、適用できるものを選定すること。

### 2-7 ドキュメント整備・研修

#### (1) マニュアル作成

- ① システムを運用するためのマニュアルを作成すること。
- ② イラストや写真を用いて分かりやすく作成すること。
- ③ 業務に不慣れな者でも理解できるように、平易な用語を用いること。

### 2-8 システム運用保守

- ① 令和4年3月11日以降の通常の運用保守に要する後年度経費を見積もること。

「通常の運用保守に要する経費」に含まれるものは以下のとおり。

- ① ハードウェアサービス使用料等  
IaaS等のハードウェア利用料、ドメイン更新料、SSL通信に係る必要な諸経費などホームページの維持に係る年間の運用経費。なお、更新等の手続きを含む。
- ② システムメンテナンス(ハードウェアを含む)  
ソフトウェアのバグ、データ不具合等の修正作業、セキュリティホール等のパッチ対応ロバージョンアップ作業を行うこと。
- ③ 不具合発生時の対応(ハードウェアを含む)  
バックアップからのシステム復旧作業を行うこと。
- ④ 必要に応じて大分県との情報交換の場を設け、システムの安定運用とアクセシビリティ等の向上を目的に打ち合わせを行うこと。
- ⑤ システム改修にあたらぬ、軽微なページデザインの変更やバナー等の更新を行うこと。
- ⑥ 管理者からの問い合わせ対応  
電話やメールでの対応を行うこととし、緊急連絡先(携帯)を設置すること。
- ⑦ 対応時間  
原則として委託期間内の8:30～17:30とする。(土日曜日及び祝日・年末年始を除く)  
ただし、障害対応及び緊急のセキュリティ対応については上記時間によらず随時対応することとし、障害対応時は、調査内容・原因・対策内容・改善策などを報告書として本県へ提出すること。

### 3 構築環境・体制

#### (1) 構築体制

- ① 委託業務の責任者を配置し、委託業務作業時における情報を一元管理すると共に、問題解決等の窓口を一本化すること。責任者が対応できない場合は本県と協議すること。
- ② 進捗管理、打合せは、本県と協議の上、適切に実行すること。
- ③ 懸案事項、課題、検討事項等の管理は、本県と協議の上、適切に実行すること。
- ④ 受託者は本県の求めに応じて迅速に必要な対応をすること。

#### (2) 品質管理

品質管理の方法日手順に関して提案し、本県と協議の上適切に実行すること。

### 4 成果物（納品物件）

- ① 運用管理マニュアル
- ② 操作マニュアル
- ③ その他、付帯的に作成した納品物
- ④ 上記のドキュメント類、データ一式を収めた DVD
- ⑤ ホームページデザインデータ一式